

ぶらっど 柏 ほんぼ

第8回 増尾駅から歩く

このコーナーでは、広報紙担当の職員が柏市内のさまざまな場所を実際に歩いて気が付いた、珍しいものや歴史的なものなどを紹介します。新たな魅力探しに、健康づくりに、あなたも「柏さんぽ」してみませんか？

図広報広聴課 ☎7167-1175



詳しい地図はこちら

今号で取り上げられなかったスポットも掲載

① ガリバーの落とし物!?

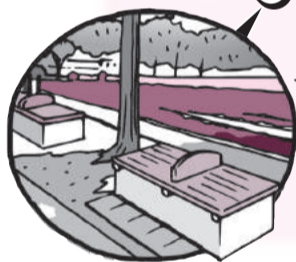
ひときわ目に付く真っ赤なブーツ。足のサイズは、およそ3メートル。持ち主の身長は20メートルくらい？

② こびとの住み家!?

カラフルで大きなキノコは、妖精やこびとの住み家のように、まるで絵本の世界に迷い込んだような気分

③ 変身するベンチ

中原ふれあい防災公園のベンチは、座板を外すと「かまど」に変身！ソーラー発電の外灯やヘリポートにもなる広場など、非常時に役立つ設備がそろっています



④ 何番まで続く? 「土小たんけん隊」の案内板

散歩をしていると、あちらこちらで案内板を見掛けます。番号が振られていて、萬福寺が1番。他の案内板も見つけてみては？

⑤ 増尾城址(し)総合公園

親子連れなどでにぎわう人気スポットですが、森の中には城があった痕跡が残っています。ひっそりと残る土塁などを見つけてみてください

⑥ 細道の奥にたたずむ 廣幡八幡宮 (ひろはたはちまんぐう)

通称「はちまんさま」。鳥居から本殿まで長い石畳が続きます。もうすぐ七五三の晴れ着が彩りを添えそうです。元旦には「浦安の舞」が奉納されます

ぶらっど カシ 注目スポット

1 森に隠れた浪漫(ろまん)「幸谷城館跡」

相馬郡を支配していた相馬氏一族と関わりのあった城館ではないかと考えられていましたが、定かではありません。まだ解明されていないことが多く、謎に包まれた城館跡です。戦国時代の土塁が残り、地元では「きつね山」と呼ばれるこの場所は、今年9月に「幸谷城館跡歴史公園(仮)」として保全されることが決まりました。



▲柏ふる里つくり隊が整備をし、看板などが設置されています

2 残したい風景「妙蓮寺の白壁」

柏市都市景観賞を受賞(平成18年度)している納得の景観。白い壁と庭木の緑、青い空とのコントラストが美しく、心癒やされます。また、景観を損なう電線がないため、時が止まったような空間を感じることができます。秋の古都のような雰囲気を感じてみてください。



3 のんびり歩ける商店街「ほのぼのの通り」

ガラスケースの残る魚屋さんや、古い郵便ポストが店先に立つレトロな喫茶店など、懐かしい風景が残る商店街。名前は昭和50年ごろに一般公募で決まったそうです。和菓子店・千葉家のご主人は「お散歩をしながら、気になったお店にも立ち寄ってください」と話してくれました。



広報紙担当の ぶらっど 体験記

歴史と森、地域愛を感じるまち

増尾駅の東西で地域の色が違います。西側は、駅前の商店街、閑静な住宅街、地域の憩いの場となる公園が多く、暮らしやすい街という印象です。東側は森が広がり、歴史の足跡が残るゆったりとした時間の流れを感じる地域です。そして、東西どちらも、きちんと整備・手入れがされたさまざまな場所が目に留まり、地域に対する住民の愛情を感じます。秋の深まりを感じながら、ゆったりとぶらっどしてみてください。

次回(12月1日号)は

南柏駅 から歩く

お楽しみに!

